2025年9月

三越伊勢丹グループ　『2025年度お取組先アンケート』結果概要

三越伊勢丹グループは、企業理念に基づき企業活動を通じて社会課題の解決に貢献することを目指しており、その一環として、人権課題･環境課題に配慮した持続可能なサプライチェーンの実現に向けた取り組みを進めています。
2023年6月には「お取組先行動規範」 を制定し、当社グループの方針をご理解いただきお取組先や調達先の皆さまに実践いただきたい項目を明示しました。
今回、この「お取組先行動規範」の浸透状況や各社の取り組みを確認し、今後の活動に活かすことを目的としてアンケート調査を実施いたしましたので、その結果概要をご報告いたします。

■アンケートの概要

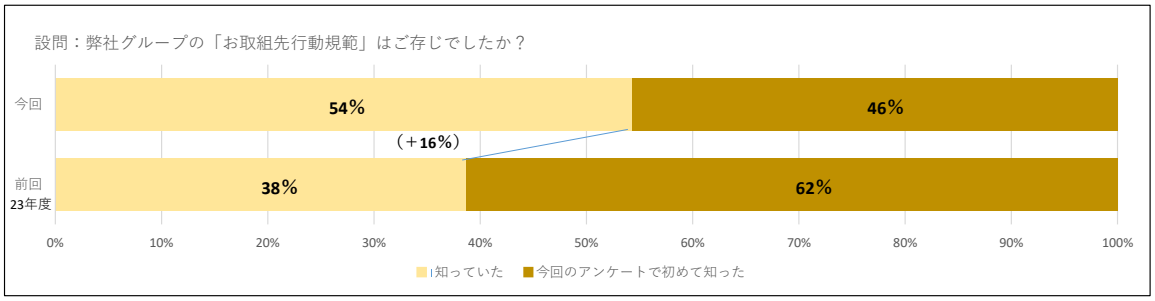
実施の目的	・三越伊勢丹グループの責任ある調達活動および「お取組先行動規範」に関する理解と浸透の促進 ・お取組先各社におけるコンプライアンス、人権、環境など持続可能なサプライチェーンに関する取り組み状況の把握と今後の改善への活用
依頼対象	（株）三越伊勢丹ホールディングス、（株）三越伊勢丹、およびグループ会社18社の継続的にお取引のあるお取組先さま
実施期間	2025年7月１日（火）～2025年7月30日（水）
実施方法	オンライン回答
質問項目	・当社のお取組先行動規範各項目への対応状況
	・人権課題に関する対応状況
	・環境課題に関する対応状況
	・人権と環境に関するリスクの認識
	・当社へのご要望

※前回は2023年11月～2024年2月に実施

■アンケートの結果

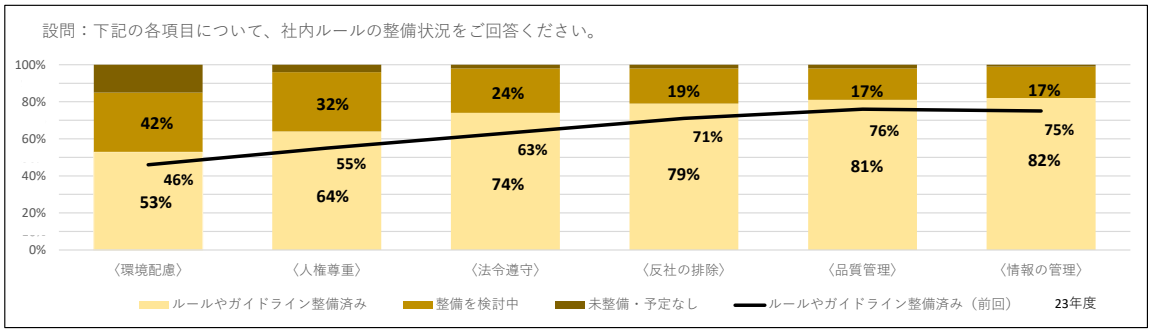
本年度は、お取組先約3,800社に「お取組先行動規範」を送付し、当社グループが推進する持続可能なサプライチェーン構築への基本姿勢についてご理解をお願いしました。
併せてご協力をお願いしたアンケートには、全体の約42%にあたる約1,600社からご回答をいただきました。

①弊社グループの「お取組先行動規範」について



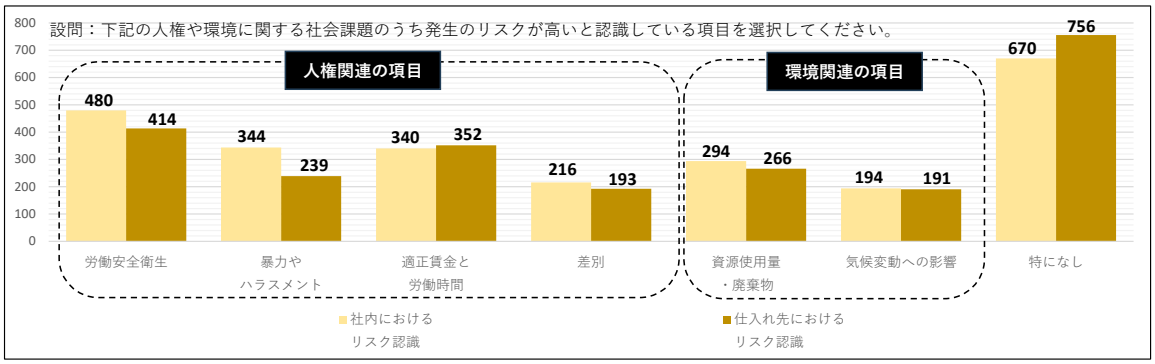
「お取組先行動規範」を「知っていた」という回答は54%で、前回（23年度）に実施時から16％上昇しました。これは日頃のお取組先と対話を通じた認知度向上の成果と考えられます。
今後も継続的な情報発信と対話を行い、ご理解とご協力をお願いしてまいります。

②お取組先各社の社内ルール等の整備状況について



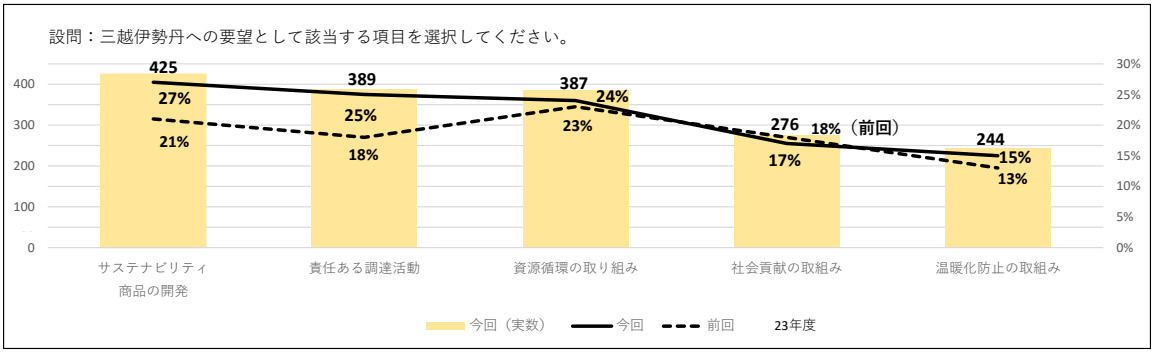
全項目で前回（23年度）より整備状況が向上しました。
特に、「人権尊重」は64％（＋9％）、「法令順守」は74％（＋11％）と改善が見られました。
一方で、人権尊重と環境配慮は依然として他項目に比べて整備率が低く、引き続き重点的な支援と対話を通じて理解浸透と実務面での整備を促進してまいります。

③お取組先各社の事業におけるリスク認識



人権では「労働安全性」「ハラスメント」「適正賃金と労働時間」、環境では「資源使用料・廃棄物」の認識が高くなっています。
全体傾向は前回とほぼ変わらず、引き続きお取組先の皆さまと連携しながら、リスクの把握と対策を進めていきます。

④三越伊勢丹グループへの期待



要望の上位3項目は前回（23年度）と同様ですが、「サステナビリティ商品の開発」「責任ある調達活動」への期待が上昇しています。
これらの要望を踏まえ、お取組先と協力しながら実現に向けた取り組みを推進してまいります。

■結果の活用

＜お取組先との協働による課題解決＞

本アンケートを通じ、当社グループのサプライチェーンにおける人権尊重や環境配慮など、持続可能性に関わる重要課題を改めて認識しました。
今後もお取組先と連携し、情報共有や支援を通じて、課題解決に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

＜重点リスクの把握と今後の方向性の検討＞

アンケートで寄せられた「お取組先が認識するリスク」について、当社グループの事業における重要性と照らし合わせて整理し、
今後の対応や協働の方向性を検討するための基礎といたします。
これらの結果は、改善やリスク低減、連携強化の取り組みに活かしてまいります。

三越伊勢丹グループは、これからもお取組先の皆さまと対話等によるコミュニケーションを通じて信頼を深め、リスク低減と安全性向上を図りながら持続可能なサプライチェーンの実現に取り組んでまいります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
三越伊勢丹ホールディングスグループ総務部 サステナビリティ推進部　csr@imhds.co.jp